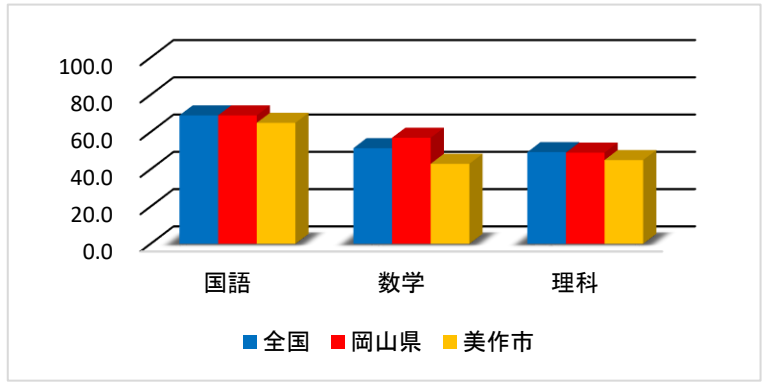


○平均正答率（中3） 割合（％）

	国語	数学	理科
全国	69.0	51.4	49.3
岡山県	69	57	49
美作市	65	43	45

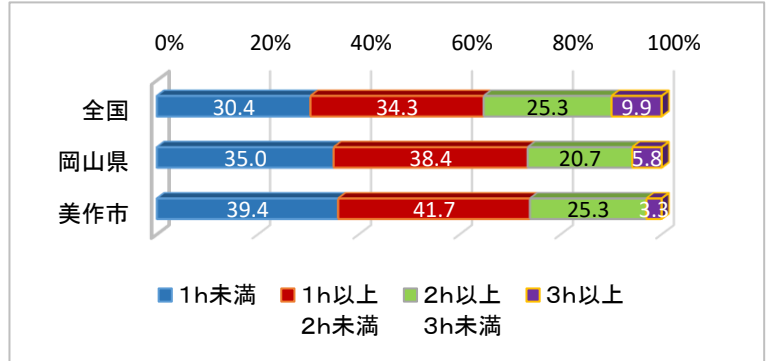
- ・国語、数学、理科すべて、全国、県を下回った。
- ・国語では「話すこと・聞くこと」の問題について、全国との差が大きかった。
- ・数学では素因数分解や連立二次方程式の設問においても課題見られたことから、基礎的な概念や確率などの意味を理解させた上で、計算の仕方について指導する必要がある。
- ・理科の動物の体の相違点を見だし説明する設問で、正答率が



○平日の家庭学習時間（中3） 割合（％）

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	30.4	34.3	25.3	9.9
岡山県	35.0	38.4	20.7	5.8
美作市	39.4	41.7	25.3	3.3

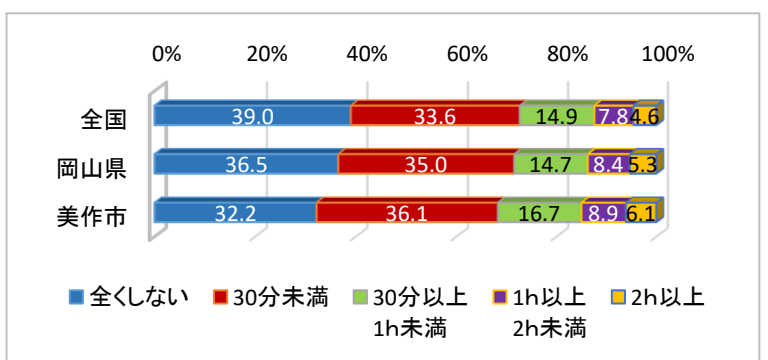
- ・平日の家庭学習1時間未満の割合は全国、県と比べ高い数値である。
- ・授業と家庭学習を関連付けながら、予習・復習・個別課題等の内容を工夫し、短いサイクルで定着を図る取組が必要である。



○平日の読書時間（中3） 割合（％）

	全くしない	30分未満	30分以上 1h未満	1h以上 2h未満	2h以上
全国	39.0	33.6	14.9	7.8	4.6
岡山県	36.5	35.0	14.7	8.4	5.3
美作市	32.2	36.1	16.7	8.9	6.1

- ・平日に読書を「全くしない」生徒の割合は、全国、県と比較すると少ない。
- ・「読書は好きですか」の項目で肯定的回答をしている生徒の割合が、全国、県と比べ高い。
- ・読書の時間確保のための工夫がさらに必要である。



【全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題】

- ・漢字や語彙など、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の設問で、正答率が全国平均より高い。今後も授業や家庭学習、読書を通して漢字の読みの習熟と応用を図ることが大切である。
- ・数学では経年的に「関数」について特に課題が大きい。関数の領域は、小学校の既習内容を振り返らせるとともに、変化や対応の仕方に着目させながら関数の意味を理解できるようにする必要がある。
- ・理科のばねに加える力の大きさについて探求する学習場面において、力の働きに関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる設問で、正答率が全国平均を下回った。授業では、見いだした規則性や関係性を基に、新たな問題を見だし、課題を設定して探究する活動を充実させる必要がある。
- ・39.4%の生徒について平日の家庭学習が1時間未満である。家庭学習の内容の工夫、また、家庭学習習慣の定着の取組など更に充実させていかなければならない。

【課題に応じた改善のポイント】

- 授業改善の推進 ～主体的・対話的に学ぶ活動を工夫し、学びの深まりを実感させる授業づくり～
  - ・「岡山型学習指導のスタンダード」を基にした授業づくりに加え、「岡山型学習指導のスタンダード増補版 授業改善『一歩先へ』」に示されている児童生徒が主役となる授業づくりと全体を見通した単元計画を行うことを重点として、授業改善を進める。
    - 自己の学びの成果が実感できる「振り返り」の充実を図る。
    - 言語活動を重視した授業づくりを行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
    - 一人一台端末などICT機器をより一層活用した効果的な授業実践を行う。
    - 基礎的知識の確実な定着と補充学習の充実を図る。
    - 家庭学習につなげる授業づくり（復習、予習、自主学習の充実）と家庭学習の出し方（質と量）の工夫を行う。
- 落ち着いた学習環境下での学ぶ意欲の向上
  - ・人間関係を大切に、生徒が主体的に学び合える学級集団づくり
- 生活習慣、学習習慣の確立
  - ・中学校区での家庭学習に関する取組の充実（家庭学習充実ウィーク、家庭学習の手引き等の活用、成長を実感できる評価と取組の見える化）
  - ・中学校区で統一したメディアへの取組の充実